

# スリランカ

2020年12月11日

海外調査部・コロンボ事務所

2019年のスリランカ経済は、同年4月に発生した同時爆破テロの影響を色濃く受けるかたちで、貿易・投資の減速がみられ、実質GDP成長率は2.3%と、前年から低下した。輸出は前年比微増だったものの、輸入は内需低迷により、1割減少した。対内直接投資はサービス業、インフラ関連が大幅に縮小し、前年比では半減した。コロナ禍の影響により発生した自国通貨の減価圧力の緩和と外貨流出防止を目的に、政府が輸入規制を実施したことに、在スリランカ日系企業から懸念の声が上がっている。

## ■テロの影響が響き、4年連続でGDP成長率は減速

2019年の実質GDP成長率は2.3%と前年の3.3%から鈍化し、4年連続の減速となった。在庫投資が進まず、全体を押し下げるかたちとなり、成長の牽引役の個人消費も伸び悩んだ。産業別にみると、2019年に発生したテロの影響によって、GDPの6割弱を占めるサービス業が2.3%と低迷したことが響いた。例えば、宿泊、飲食活動の成長率はマイナス4.6%となった。テロは同国の政情不安を意識させ、スリランカ・ルピー（以下LKR）売りが加速した。2018年に1ドル162.54LKRだった為替水準は2019年に178.78LKRと大きく減価した。2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、さらに通貨安が続いている。

2020年の経済は新型コロナによる都市封鎖（ロックダウン）の影響が顕在化し、さらに落ち込んだ。第1四半期の成長率が前年同期比マイナス1.6%となり、これは過去10年間で最低の成長率だった。GDP成長率を産業別にみると、構成比7.3%を占める農業が前年同期比10.6ポイント減のマイナス5.6%、構成比28.4%を占める製造業が11.7ポイント減のマイナス7.8%と大幅な落ち込みを記録。一方、GDP構成比58.3%を占めるサービス産業は0.6ポイント減の3.1%と、プラス成長を維持した

## ■輸出入ともに縮小

2019年の貿易は、輸出額が前年比0.4%増の119億4,000万ドル、輸入額は10.3%減の199億3,710万ドルと、輸入額の減少幅が大きかったために、貿易赤字は縮小した。

輸出面では、全体の約2割を占める農産品が前年比4.6%減となり輸出を押し下げた。全体の約8割を占める工業製品の46.9%を占める繊維製品・衣料品が5.2%増となり前年比増を確保した。国別では、EUの一般特惠関税制度（GSP）のひとつGSPプラスの恩恵を背景にEU向け（36億ドル、前年比2.2%増）と、同様にGSP特惠を享受できる米国向け（31億ドル、1.8%増）の輸出が低率ながらそれぞれ増加した。

輸入は前年比10.3%減となり、消費財分野は20.5%減、中間財は9.0%減、資本財は1.9%減と、いずれも前年比減少した。内需の低迷により、自動車の輸入は48.2%と大幅に減少した。

表1 スリランカの主要品目別輸出入 (通関ベース)

(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
農産品	2,579.3	2,461.9	20.6	△4.6	消費財	4,979.7	3,956.5	19.8	△20.5
茶	1,428.5	1,346.4	11.3	△5.7	食料品・飲料品	1,606.1	1,426.9	7.2	△11.2
ココナツ	311.0	329.5	2.8	6.0	乳製品	332.3	311.9	1.6	△6.1
香辛料	360.2	312.5	2.6	△13.2	砂糖・菓子類	249.7	201.2	1.0	△19.4
海産品	265.8	262.5	2.2	△1.3	レンズ豆	78.6	79.9	0.4	1.6
未加工たばこ	35.6	34.7	0.3	△2.4	コム	106.8	12.8	0.1	△88
ゴム	31.6	24.2	0.2	△23.4	その他	838.7	821.2	4.1	△2.1
野菜	28.2	32.0	0.3	13.3	その他消費財	3,373.6	2,529.6	12.7	△25
その他農産品	118.4	120.0	1.0	1.4	自動車	1,573.5	815.7	4.1	△48.2
工業製品	9,258.2	9,426.3	78.9	1.8	医薬品	532.0	552.6	2.8	3.9
繊維製品・衣料品	5,317.7	5,596.5	46.9	5.2	衣類・アクセサリ	310.3	275.1	1.4	△11.3
ゴム製品	875.3	866.1	7.3	△1.1	家庭用品	232.2	206.6	1.0	△11
石油製品	622.1	521.1	4.4	△16.2	その他	725.6	679.6	3.4	△6.3
食品・飲料・たばこ	462.3	447.0	3.7	△3.3	中間財	12,488.0	11,369.6	57.0	△9
機械・機器	434.8	400.0	3.3	△8.0	燃料	4,151.9	3,891.6	19.5	△6.3
宝石・ダイヤモンド・宝飾品類	278.0	305.7	2.6	10.0	繊維製品	2,858.5	2,909.4	14.6	1.8
輸送機器	120.3	145.9	1.2	21.3	化学製品	904.2	831.5	4.2	△8
革製品・旅行用品・履物	147.7	102.9	0.9	△30.3	小麦・トウモロコシ	373.5	346.4	1.7	△7.3
印刷・出版製品	31.7	48.3	0.4	52.4	肥料	261.6	221.4	1.1	△15.4
陶磁器	31.3	30.1	0.3	△3.9	ダイヤモンド・貴金属	572.7	201.4	1.0	△64.8
その他工業製品	937.1	962.8	8.1	2.7	その他中間財	3,365.6	2,967.9	14.9	△11.8
鉱業品	34.4	33.9	0.3	△1.4	資本財	4,690.4	4,602.6	23.1	△1.9
その他	17.8	17.9	0.2	0.6	機械・機器	2,491.6	2,489.7	12.5	△0.1
合計 (その他含む)	11,889.6	11,940.0	100.0	0.4	建設資材	1,524.5	1,508.7	7.6	△1
					輸送機器	668.1	596.6	3.0	△10.7
					その他資本財	6.1	7.6	0.04	25.5
					その他	74.6	8.3	0.04	△88.9
					合計 (その他含む)	22,232.7	19,937.1	100.0	△10.3

[注] 2019年は暫定値。

[出所] スリランカ中央銀行「Annual Report 2019」

表2 スリランカの主要国・地域別輸出入 (通関ベース)

(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
米国	3,085	3,141	26.3	1.8	中国	4,116	4,034	20.2	△2.0
英国	980	998	8.4	1.8	インド	4,231	3,899	19.6	△7.8
インド	777	768	6.4	△1.2	アラブ首長国連邦 (UAE)	1,835	1,669	8.4	△9.0
ドイツ	614	648	5.4	5.5	シンガポール	1,372	964	4.8	△29.7
イタリア	572	528	4.4	△7.7	日本	1,585	875	4.4	△44.8
オランダ	258	301	2.5	16.7	マレーシア	794	853	4.3	7.4
日本	226	283	2.4	25.2	米国	519	542	2.7	4.4
アラブ首長国連邦 (UAE)	290	276	2.3	△4.8	タイ	497	437	2.2	△12.1
カナダ	211	241	2	14.2	インドネシア	427	422	2.1	△1.2
中国	239	240	2	0.4	台湾	474	410	2.1	△13.5
EU28	3,474	3,552	29.8	2.2	EU28	2,013	1,952	9.8	△3.0
SAARC	1,107	1,133	9.5	2.3	SAARC	4,887	4,343	21.8	△11.1
合計 (その他含む)	11,890	11,940	100.0	0.4	合計 (その他含む)	22,233	19,937	100.0	△10.3

[注] ①2019年度は暫定値。

②SAARC (南アジア地域協力連合) は、インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、ネパール、モルディブ、アフガニスタン、ブータン。

[出所] スリランカ中央銀行「Annual Report 2019」

## ■対内直接投資は、中国は大幅減も、日本は好調

2019年の対内直接投資は、同時爆破テロの影響もあり、前年比49.8%減の11億8,870万ドルと半減した。業種別にみると、ホテル・レストラン関連 (31.1%減) をはじめとしたサービス業 (25.6%減)

の減少が際立つ。また、港湾コンテナ・ターミナル（94.4%減）、電話・通信ネットワーク（73.5%減）、発電・燃料・ガス・石油・その他（38.9%減）と、インフラ関連（63.7%減）の投資の減少が目立った。

国・地域別でみると、中国が前年比73.1%減の2億9,300万ドルと大幅に減少したものの、3年連続の最大投資国となった。中国からの投資の大幅減は、前年にコロombo・ポートシティ開発など大型プロジェクトがあったことによる反動減による。日本は2019年10位にとどまるも、69.4%増（前年順位15位）の3,180万ドルとなった。

### ■観光業の先行きと輸入規制が懸念

新型コロナがスリランカでも拡大する中、政府は2020年3月から全国規模の外出禁止令を発令した。以降、海外からの観光客は途絶えている。観光業がGDPに占める割合は12~13%であるものの、関連業界への経済波及効果や景況感への影響が大きいため、政府としてはできるだけ早い段階での国際空港の平常化を検討している。2019年4月の爆破テロ発生時には、各国がスリランカの危険レベルを一時的に引き上げた影響などにより、翌5月には海外からの旅行客数が前年同月比7割近く減少した経緯がある。今回は先行きが見通せず、さらなる経済の下振れが懸念される。

現地日系企業は、スリランカ経済の先行きに加えて、政府の輸入規制措置を懸念している。政府は経済低迷によるLKRの極端な減価防止と外貨流出防止を目的として、2020年3月以降、各種輸入規制を課した。3月に、中央銀行は自動車と非必需品の輸入に関する信用状の開設を停止するとし、市中銀行に対して、同措置を3カ月間は継続するよう指示を出した。これにより信用状による取引のみが認められている自動車の輸入が完全停止した。以降政府は、輸入規制を更新するいわゆるネガティブリストを官報で発表し、医薬品や燃料などの必需品を除き、対象品目の拡大など規制の強化や一部緩和などの調整を行ってきた。

2020年10月時点で、日本企業に関係の深い自動車・バイクとこれら補修部品、発電機には、輸入規制が課されているほか、文房具、洗面・トイレ関連製品、洗顔料など日本から輸入されていた製品の動きが滞っている。

表3 スリランカの国・地域別対内直接投資  
(国際収支ベース、ネット、フロー)

(単位：100万ドル、%)

	2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率
中国	1,088	293	24.6	△73.1
英国	94	157	13.2	67.2
インド	341	139	11.7	△59.2
香港	411	137	11.5	△66.6
シンガポール	25	97	8.2	295.2
マレーシア	88	54	4.5	△38.9
オランダ	54	43	3.6	△20.6
アラブ首長国連邦 (UAE)	51	41	3.5	△20.2
オーストラリア	19	33	2.8	74.0
日本	19	32	2.7	69.4
合計 (その他含む)	2,366.9	1,188.7	100.0	△49.8

[注] BOI法に基づく認可案件。

[出所] スリランカ投資委員会 (BOI)

表4 スリランカの業種別対内直接投資  
(国際収支ベース、ネット、フロー)

(単位：100万ドル、%)

	2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率
インフラ関連	1,773.7	643.7	54.2	△63.7
住宅物件開発・店舗・オフィス	397.8	455.3	38.3	14.4
電話・通信ネットワーク	522.2	138.1	11.6	△73.5
港湾コンテナターミナル	850.0	47.2	4.0	△94.4
発電、燃料、ガス、石油、その他	3.7	2.3	0.2	△38.9
製造業	291.5	319.5	26.9	9.6
化学・石油・石炭・ゴム・プラスチック製品	97.3	108.4	9.1	11.4
繊維・衣料・皮革製品	90.6	104.9	8.8	15.7
食品・飲料・たばこ	22.3	26.1	2.2	17.1
金属加工・機械・輸送機械	7.8	9.5	0.8	21.9
非金属鉱物製品	21.0	7.5	0.6	△64.3
木材・木材製品	4.9	7.2	0.6	47.9
紙・紙製品、印刷・出版	9.0	1.3	0.1	△85.5
その他製造業	38.6	54.6	4.6	41.4
サービス業	301.3	224.2	18.9	△25.6
ホテル・レストラン	223.4	153.9	12.9	△31.1
IT、ビジネス・プロセス・アウトソーシング (BPO)	58.7	40.0	3.4	△31.9
その他サービス	19.2	30.3	2.6	58.0
農業	0.5	1.3	0.1	168.4
合計 (その他含む)	2,366.9	1,188.7	100.0	△49.8

[注] BOI法に基づく認可案件。

[出所] スリランカ中央銀行「Annual Report 2019」

## 主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：2,180万人（2019年）			
②面積：6万5,610km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：3,853米ドル （2019年）			
④実質GDP成長率（%）	3.6	3.3	2.3
⑤消費者物価上昇率（%）	7.7	2.1	3.5
⑥失業率（%）	4.2	4.4	4.8
⑦貿易収支（100万米ドル）	△9,619	△10,343	△7,997
⑧経常収支（100万米ドル）	△2,309	△2,799	△1,808
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	7,959	6,919	7,642
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	51,604	52,412	55,916
⑪為替レート（1米ドルにつき、 スリランカ・ルピー、期中 平均）	152.46	162.54	178.78

〔注〕 2019年は暫定値、⑦：通関ベース  
 〔出所〕 ①②④～⑧⑪：スリランカ中央銀行「Annual Report 2019」、③：世界銀行、⑨：スリランカ中央銀行「Reserve Data Template-Historical」、⑩：スリランカ中央銀行「Quarterly External Debt Statistics as at End Quarter (2012 4Q to Latest)」

（お問い合わせ先）

海外調査部 アジア大洋州課

ORF@jetro.go.jp